

令和7年度 介護労働懇談会の開催 熊本支部 熊本県介護施設SAFE協議会(合同開催)

開催日時: 12月2日(火)13:30 ~ 15:45

- ① 合同開催の意義
- ② 令和6年度介護労働実態調査(県版)の概要
- ③ 介護労働講習の実態と実績等
- ④ 介護の日(福祉重点期間)におけるハローワーク就職相談会への参加、相談状況
- ⑤ 雇用管理改善の取組み
- ⑥ 講演:「ノーリフティング・ケアとは」
- ⑦ 業務改善サポートセンター視察・体験

主な参加機関

熊本労働局、熊本公共職業安定所、熊本県健康福祉部、
熊本市高齢者支援部、介護福祉士会、老人保健施設協
会、ヘルパー協議会、介護福祉士養成施設協会、全国
健康保険協会、他



主な内容等(介護労働実態の現状と人材確保対策、働きやすい作業環境の取組について情報提供、意見交換を行う)

- 介護労働懇談会と介護施設SAFE協議会の趣旨・目的の一つ「働きやすい環境づくり」に、連携・協力の重要性を共有。
- 介護労働実態調査結果のうち、生産性向上やストップ離職、雇用管理面等において、問題性が全国値を上回る項目を示して、その原因解明が求められることを指摘した。
- 介護人材を養成する「介護労働講習」の目的と実績を説明するとともに、授業風景特に実技の作業を上映し、参加者の理解を深め、あわせて、修了生の介護系就職率が86%を超えていること、個々の能力が高いことを説明した。
- 福祉重点期間にハローワークが主催する「介護のしごと就職相談会」に、今年度初めて後援組織として参入し、相談ブースを設けて施設との相談、支援について情報交換した。
- 介護労働実態調査結果で指摘した課題解決には、施設の現状把握が重要であることから自己診断できる雇用管理改善CHECK&ACTION25及び独自作成の改良版を案内した。
- 施設側主導による「働きやすい環境づくり」を促進するため、腰痛防止、改善に効果的なノーリフティングの専門家ノーリフトコーディネーター/介護福祉士による講演を行った。
- 介護機器やICTを展示している業務改善サポートセンターを視察し、その使用法や効果等をメーカー等から説明した。

参加団体からの意見要望等

- ・CHECK&ACTION25のチェックリスト(改良版)は集計データグラフがレーダーチャート式で課題がわかりやすく利用できるように公開してほしい→施設の状況に応じて個別に対応可能です
- ・ノーリフティング・ケアに取り組み誰でも働きやすい職場環境を目指したい
- ・ノーリフティングを推進するために新たなネットワーク体制ができればいい

事務局(介護労働安定センター 熊本支部) からコメント

今回はじめてSAFE協議会との合同会議でしたが、介護人材の確保と定着促進を図るためには、さらなる業務改善の取組みの必要性を強く感じました。また、SAFE協議会のほか、関係機関・団体等との合同開催につながれば介護業界の発展が大いに期待できるものと考えています。
介護労働安定センターは「介護のプロ」を応援します。施設の個別支援もこちらが出向いてご相談できます。

お問い合わせは、TEL096-351-3726に御連絡ください。